



平成 20 年 2 月 25 日

各 位

会社名 株式会社ダイナシティ
代表者名 代表取締役社長 松吉 俊治
(JASDAQ コード番号 8901)
問合せ先 IR 広報室長 西田 耕二
(TEL : 03-5733-8157)

事業の再構築を実施する方針に関するお知らせ

当社は本日発表の「平成 20 年 3 月期 通期業績予想並びに期末配当予想の修正に関するお知らせ」を踏まえ、平成 20 年 2 月 25 日開催の当社取締役会において、下記のとおり抜本的な事業の再構築を実行する方針を決定いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 経緯・目的

当社は、設立当初より現在に至るまでコンパクトマンションの供給を主要事業として順調に成長してまいりました。平成 20 年 3 月期につきましては、景気に対する先行不安感や地価上昇による影響等で消費者の購買意欲が減退しているとともに、第 4 四半期に集中した新規販売物件の一部を来期へ販売時期の変更を行ったことが、販売戸数の見通しを下回る要因となりました。

しかしながら主要購買層である単身者および DINKS による実需のニーズは確実にあること、また実需のみに留まらず投資、セカンドハウス、ご子息・ご令嬢用の住居など購買層の裾野は広がっており、引続き主要事業であるコンパクトマンションに対するニーズは底堅く今後も当社の主要事業として順調に成長していくものと考えております。

一方、不動産ソリューション事業については、米国のサブプライムローン問題を発端とした世界レベルでの金融市場の混乱で、ファイナンス環境が悪化することにより不動産取引が停滞し、見通しを下回る要因となりました。本事業においては外的要因に左右されるものが大きく、積極的な展開を継続していくには不安定要素が多いものと考えております。

このような不動産業界をとりまく厳しい状況において、上記課題を踏まえ当社は抜本的な事業再構築を実行し、より迅速な意思決定と機動的な事業展開、また経営資源の最適化を図ることが当面の最重要課題と認識し、今回の事業の再構築を実行する方針を決定するに至りました。

2. 決定内容

(1) コンパクトマンション事業の強化

コンパクトマンション市場でのリーディングカンパニーとしての地位を更に確固たるものとすることを目指します。長年の実績およびノウハウを活かしつつ、多様化するニーズに対応するため本事業へ重点的に経営資源を投入し、企画・開発・販売力の強化を図ります。

(2) 不動産ソリューション事業の撤退検討

不動産ソリューション事業の撤退を検討し、コンパクトマンション事業に経営資源を集中することにより、事業リスクの極小化を図ります。



(3) アライアンス（業務提携）等の強化

経費の削減、業務の効率化を実現するために、有効な企業とのアライアンスを積極的に推進します。現在のところ、新たに業務提携した事実はありません。

(4) 経営の効率化に資する組織の再構築

組織再編、人員の再配置および少数精鋭化により、業務の合理化・効率化を図り、経営の効率化を推進します。

3. 今後の見通し

上記方針をもとに現在、中長期的な経営計画および具体的施策を策定中であり、詳細につきましては、確定後速やかにお知らせいたします。

以 上